

幕末長州藩における 年号「元治」と「慶応」

副館長 山崎一郎

はじめに

- ・長州藩では「慶応」改元後も「元治」年号が使われた、という話

1. 江戸時代の改元

- ・幕府から各大名への通知 → 江戸城での老中申渡しと同席触廻状
- ・萩藩の場合、申渡し後30日ほどで領内各地へ（正式な伝達ルートでの日数）

2. 「元治」改元と長州藩

- ・文久3年(1863)8月18日政変後、長州藩が失地回復を目指していた時期の出来事
- ・従来通り、幕府から長州藩へ通知があったと考えられる

3. 「慶応」改元と長州藩

- ・第1次幕長戦争終了から第2次幕長戦争の間の出来事
- ・長州藩は幕府から正式な通知がないまま領内へ改元を通知（という屈辱）
- ・「慶応」改元通知後、公式に用いられる「慶応」年号

4. 「慶応」改元後の「元治」使用例

- (1) 笠松神社（萩市須佐） (2) 金麗社（美祢市美東町大田）
(3) 元延命寺石燈籠（下関市・東行記念館蔵） (4) (5) 奇兵隊士墓（下関市東行庵・本行寺）
(6) 長防臣民合議書 (7) 出師檄 (8) 亘理家文書 (9) 宇野家文書 (10) 檜崎隆蔵文書
(11) 徳田家文書 (12) 安部家文書 *6・8~12は当館蔵

5. なぜ「元治」年号を使ったのか

- ・幕府から「慶応」改元が通知されなかったという事実を人々がどう受け止めたのか
- ・第2次幕長戦争前~戦争中、藩政府の政治的意図

おわりに



(9) 宇野家文書に残る
「元治三年」と記された帳簿